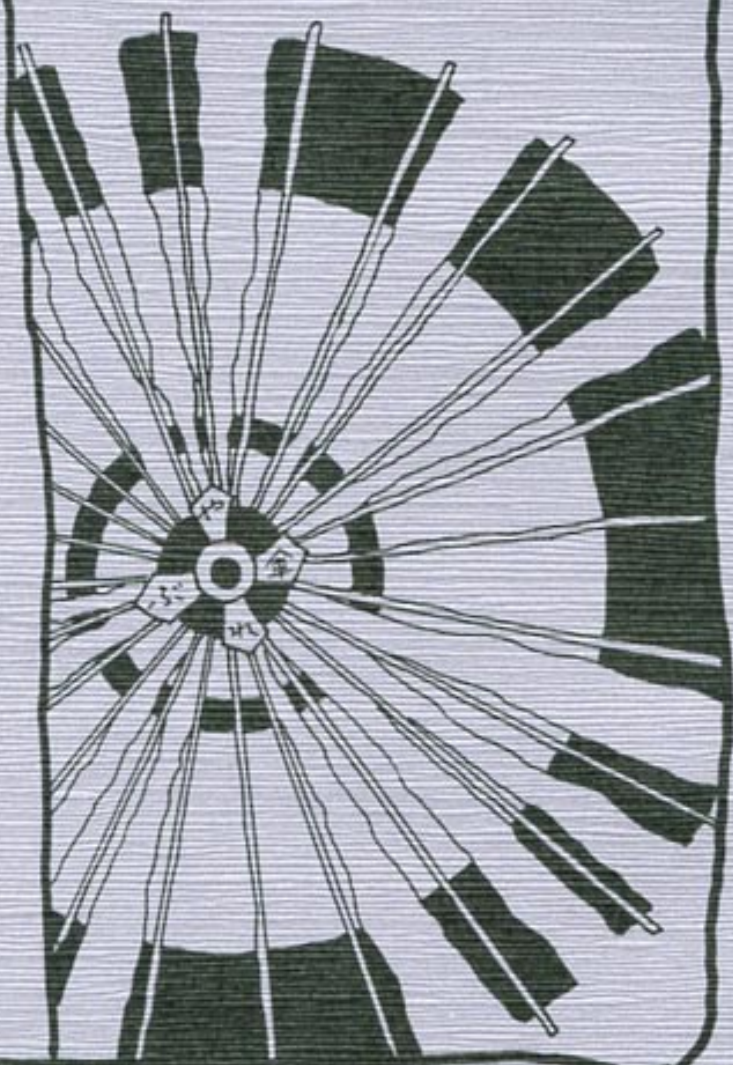


やぶれ傘



四十八号

二〇〇九年六月

|                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| 花屑の乾いてゐたる水位標                       | 根橋宏次   |
| 浮雲は家鴨の形豆の花                         | 大島英昭   |
| 海へ向け魚干さるる花菜漬                       | きくちきみえ |
| 藪椿瓦は雨にぬれながら                        | 藤井美晴   |
| 川沿ひに毛 <small>うまのあしがた</small> 蓂芽を並べ | 天野美登里  |
| シャベルカーのシャベルで杭をつくしんぼ                | 丑久保 勲  |
| 鯛焼を裏返しけり鯛焼屋                        | 瀬島洒望   |
| 横積みの蛇籠に止まる花筏                       | 廣瀬雅男   |
| お団子にだんごを乗せる春彼岸                     | 白石正躬   |
| 目借時背表紙に見る金の文字                      | 安藤久美子  |
| 享保雛飾る山家に灯の入りて                      | 國保八江   |
| 影長き織部灯籠竹の秋                         | 渡邊孝彦   |
| 永き日の一人居の茶を淹れにけり                    | 有賀昌子   |
| 道場に吠えてゐるなり花の頃                      | 松村光典   |
| ちちははに逢ふかも知れず花の闇                    | 秋葉貞子   |

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ や

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 蓬摘む人に土筆を分けにけり   | 浅嶋 肇  |
| 畑に行く山路懸りに迎春花    | 石原健二  |
| 道に出て驚き易き雀の子     | 岩藤礼子  |
| 蝌蚪の紐を皆で見えてゐる日曜日 | 菊地葉子  |
| 老樹芽吹ぐ四圍に鎖をめぐらせて | 久世孝雄  |
| すかんぼに雲の明るさ軽さかな  | 忽那みさ子 |
| 初蝶や日のよく当る喫茶店    | 齋藤朋子  |
| 日の丸のはためいてゐる春競馬  | 佐藤泰秀  |
| せせらぎに春すこしあり座禪草  | 高柳正幸  |
| 畦焼きの烟りを残し日の暮るる  | 時田義勝  |
| 餅背負ひ踏ん張る一歳梅匂ふ   | 中村則夫  |
| 花鎮め舞ひの少女の昇殿す    | 橋本美代  |
| 舗装路の亀裂に草の芽生えかな  | 濱野 新  |
| 朝採りの筍を売る指太し     | 平岡かづお |
| 野遊びのいつしか海へ出でにけり | 松本正生  |

ぎしぎし

大崎紀夫

雛の間の灯は日もすがら夜もすがら  
ふつつつと小穴息する干潟暮る  
明日葉の先の石垣崩えしまま  
桃の花道は雁坂峠へと  
苗木売り時に紫煙の輪を吐いて

海をくる雲はきれぎれ花なづな  
土手に出て向う岸見る日永かな  
せせらぎは夜の底より木の芽和  
墨堤に夕日夕風さくら散る  
花こぼれくるひとときを佇ちゐたる  
ぎしぎしや道に長靴跡つづき  
参道はこれより磴に濃山吹

鯛焼屋

瀬島酒望

与三郎と呼ぼるもみて猫の恋  
午祭り飴細工屋は今不在  
鯛焼を裏返しけり鯛焼屋  
たんぽぽの上に電光掲示板  
バイバイをして孫の雛納めけり  
蕨餅食ふ続編を読む前に  
消火器に白き記号や鳥曇り  
吠える声真似て通りぬ入学児  
旧道に束たわ子しの会社花蘇芳  
のぼりけり石楠花の咲く築山に

蛇籠

廣瀬雅男

土塊のままの畑や春の霜  
関ひとつ越えてみちのく山笑ふ  
大空へ沈みてゆけり揚げ雲雀  
ぐい呑みは無地の益子や野蒜和へ  
げんげ田の五分咲き程になりけり  
パスポート受けて四月の街に出る  
前山に灯るものなき朧月  
秩父路の見下す谷の桜かな  
横積みの蛇籠に止まる花筏  
縄張りの濟みし宅地や蛇苺

お 団 子

白 石 正 躬

木々芽吹く曲がつた径をみちなりに  
お団子にだんごを乗せる春彼岸  
蓬餅黄粉とともに供されて  
菜の花や午後の陽の色濃くなりて  
田螺鳴くうすらに暮るる田に佇てば  
お花見や乾杯の後雨来る  
春の月川渡り来るカラスニ羽  
川風は芽吹き風となりけり  
燕のまづなによりも飛ぶことを  
客待ちの渡船は岸に永き日を

目借時

安藤久美子

区役所の桜は七分戸籍課へ  
春眠し未明の童話手より落ち  
本復の夫とふたりの櫻もち  
花蘇芳緑青の屋根日をとどめ  
強東風や小魚動く忘れ潮  
目借時背表紙に見る金の文字  
空き地よりにんじん色の春夕焼  
信州の山藤を見て空を見て  
開きたる窓に風寄る花辛夷  
湯船よりあをき桜と伊豆の海



享保雛

國保八江

それなりに雲を映して春の川  
影踏み影は木陰に沈丁花  
吊し雛飾る湯宿に海昏れて  
土佐の浜に拾ひし小石雛壇に  
紙雛に子はまんまるの目を入れて  
享保雛飾る山家に灯の入りに  
家々の雛を巡りて山の子等  
こでまりに風弾みては通り過ぐ  
花の雨浚漈船の碇泊灯  
裾あげのひと針ごとに春惜しむ

竹の秋

渡邊孝彦

馬鈴薯を植う久々の晴るる日に  
公園の防災倉庫木々芽吹く  
背伸びして届く巣箱や冬<sup>そよご</sup>青の木  
岸の辺の段違い垣木瓜の花  
辛夷咲く土木事務所的安全旗  
影長き織部灯籠竹の秋  
灯されて夜桜の影校庭に  
烏啼く天水盆の花筏  
石段の石に斑<sup>むら</sup>あり花の塵  
賑やかに風船かざる花屋かな

永き日

有賀昌子

永き日や俳句手帳に指のかげ  
長春花ふたつみつよつ咲きにけり  
フロントの窓にミモザの花吹雪  
三月やフランスパンにマーマレード  
春の池金黒羽白雌雄ゐて  
水面打つ鯉の尾ひれや春の夕  
春燈や蠟涙の形ごつごつと  
葉や親に縫りし園の猿  
引越しのトラックに花挿してあり  
永き日の一人居の茶を淹れにけり

花の頃

松村光典

窓開けて招じ入れけり涅槃西風  
春や春ひとそれぞれにそれぞれに  
年寄りのベンチにつどひ辛夷咲く  
白もくれん天にささげる蕾かな  
脱ぎかけてまた着る春の衣かな  
子らの声花の雲より立ちのぼる  
道場に吠えてゐるなり花の頃  
花びらの空をながるる月夜かな  
子雀の声のみありて日の暮るる  
竹の子のこりしやきこりと口に鳴る

渡部光徳

酷寒やすすんき肴に木曾の酒

すんき||自分でつけた当地特産の漬け物

野沢菜に終る馳走や老舗の湯  
折れ曲がるテントのポール独活を売る  
チエーンソの音を谷間にはだれ山  
釣り人の川辺に摘める露の臺

秋葉貞子

話し声聞えるやうな雛の部屋  
ちちははに逢ふかも知れず花の闇  
乗りつぎし車窓を過ぐる遅桜  
草餅や鞍馬の婆は咄好き  
廃校のトートテムポール山笑ふ  
天上を挿す指かわく甘茶仏  
風光る子に初めての定期券

## ◇7～8月の句会案内

| 月  | 日      | 時       | 句会名      | 会 場      | 連絡先       |
|----|--------|---------|----------|----------|-----------|
| 7月 | 3日(金)  | AM10:00 | NHK大崎教室  | さいたまアリーナ | NHK文化センター |
|    | 3日(金)  | PM6:00  | なごみ会     | 浦和コミセン   | 大島英昭      |
|    | 5日(日)  | PM2:00  | うらら会     | 割烹・千代田   | 瀬島 孟      |
|    | 6日(月)  | PM7:00  | ぎんなん会    | 浦和コミセン   | 大島英昭      |
|    | 7日(火)  | AM9:00  | こなから会    | 戸田市中央公民館 | 大崎紀夫・WEP  |
|    | 18日(土) | PM2:00  | セニョリータ句会 | WEP俳句教室  | 藤井美晴      |
|    | 22日(水) | PM6:00  | 三斗会      | WEP俳句教室  | 丑久保勲・WEP  |
|    | 25日(土) | AM10:00 | 楽天会      | 戸田市中央公民館 | 廣瀬雅男      |
|    | 26日(日) | PM2:00  | やぶれ傘句会   | WEP俳句教室  | WEP編集室    |
| 8月 | 3日(月)  | PM7:00  | ぎんなん会    | 浦和コミセン   | 大島英昭      |
|    | 4日(火)  | AM9:00  | こなから会    | 戸田市中央公民館 | 大崎紀夫・WEP  |
|    | 4日(火)  | PM6:00  | うらら会     | 浦和コミセン   | 瀬島 孟      |
|    | 7日(金)  | AM10:00 | NHK大崎教室  | さいたまアリーナ | NHK文化センター |
|    | 7日(金)  | PM6:00  | なごみ会     | 浦和コミセン   | 大島英昭      |
|    | 15日(土) | PM2:00  | セニョリータ句会 | WEP俳句教室  | 藤井美晴      |
|    | 16日(日) | AM10:00 | 吟行会(下記注) | 鎌倉・妙本寺 他 | 丑久保 勲     |
|    | 22日(土) | AM10:00 | 楽天会      | 戸田市中央公民館 | 廣瀬雅男      |
|    | 23日(日) | PM2:00  | やぶれ傘句会   | WEP俳句教室  | WEP編集室    |
|    | 26日(水) | PM6:00  | 三斗会      | WEP俳句教室  | 丑久保勲・WEP  |

(注) 三斗会は今後毎月第4水曜日になります。

8月16日(日)の吟行。集合は10時。JR横須賀線・鎌倉駅東口改札口  
(進行方向左側)。吟行地:妙本寺(鎌倉駅から徒歩7分)他。句会場:  
鎌倉市生涯学習センター(駅前)。

◎連絡先 瀬島 孟 ☎048-862-2757 藤井美晴 ☎0422-55-2733  
大島英昭 ☎048-592-5041 WEP編集室 ☎03-5368-1870  
廣瀬雅男 ☎048-443-7522 浦和コミセン ☎048-887-6565  
丑久保 勲 ☎048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ